

## 2025年日本国際博覧会 スマートモビリティ万博「ロボット」 実証プロジェクト 基本計画策定、事業者募集、実証運用等業務 事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案事業者（契約候補者）を選定しましたので、お知らせします。

### 1. 審査手法

事業者（2者）から提案のあった内容について、4名の選定委員による審査を行い、最優秀提案事業者を選定いたしました。なお、審査にあたっては、2023年10月3日に事業予定者選定委員会を実施し、選定委員会委員による採点（100点満点）を行いました。

### 2. 審査結果

#### (1) 最優秀提案事業者（名称・評価点・提案金額）

株式会社電通ライブ

評価点 88点（提案金額 税込 189,599,498円）

#### (2) 全提案事業者の名称 ※50音順

TIS株式会社

株式会社電通ライブ

#### (3) 最優秀提案事業者の選定理由 ※講評ポイント

- ・ 計画策定については経験が豊富で安心感があること。
- ・ 会場では来場者が多く人口密度が高いこと、また、実証実験の運営はベンダーが行うが、警備・清掃・営業施設等事業者との調整はアナログで行う必要があり、運用は非常に困難であることが想定される。この状況下で、想定される実証ロボットを安全に管理かつ運用できる経験・ノウハウが重要であることを踏まえ、長期間の会場運営のマネジメント経験が豊富な点が評価できること。

(4) 選定委員会委員の氏名及び選任理由

選定委員 氏名	所属・役職	選任理由
大原 賢一	名城大学 理工学部 メカトロニクス工学科教授 (ロボティクス)	<p>大学においてロボティクス・メカトロニクス人材を育成する教育に尽力されるだけでなく、ロボット関連の国プロへの参画、ロボット関連の講演会の実行委員長や、ロボット学会や計測自動制御学会で理事を歴任し、ロボット技術に関する幅広い知見・実績がある。</p> <p>また、ワールドロボットサミットにおける競技委員やロボット革命・産業 IoT イニチアチブ協議会 WG3 ソフトウェアアーキテクチャ調査検討委員会委員長、さらには ISO におけるサービスロボットのソフトウェアモジュールの標準仕様策定への委員参加などの実績があり、ロボット運用の観点から総合的に評価いただくため。</p>
坂本 俊雄	i-RooB0 Network Forum 会長	<p>ロボット業界で日本最大規模の団体である i-RooB0 Network Forum の代表理事に就任され、ロボット技術の分野に関して豊富な知見がある。また、様々なロボットビジネスイベント開催の経験もあり、幅広い知見からロボットイベントに関する提案内容について総合的に評価いただくため。</p>
田辺 清人	株式会社 集客創造研究所 代表 (2025 年日本国際博覧会 会場運営プロデューサー補佐)	<p>各種博覧会の事業計画・運営計画の策定、博覧会を代表する多くのパビリオンの運営計画、愛・地球博の事業運営業務プロデューサー補佐として全体運営監修業務に携わり、博覧会における会場運営業務に係る深い知見を有している。また、万博会場運営プロデューサー補佐の立場からも、提案内容について総合的に評価いただくため。</p>
牧村 真史	作戦本部株式会社 戦略局局長 (愛・地球博 会場運営プロデューサー)	<p>愛知博では会場運営プロデューサーに就任され、他にも様々な世界万博に携わられるなどイベント運営に関する豊富な経験・知見があり、イベントの運営に関して総合的に評価いただくため。</p>